

紙コップやモーターが材料

手作りしたばかりの「ロボコップ」で楽しそうに遊ぶ子どもたち。三木勤労者体育センター



「ロボコップ」手作り

小学生70人相撲で性能競う

者一
勤体 育セ ンター

紙コップやモーターを三木市福井の三木勤労者として初めて企画、主材料に電池で動くロボツトを体育センターで開かれた。神戸市を拠点に活動するボランティア

て遊ぶ「ロボコップ相撲」三木青年会議所が「未団来」青少年と科学技術を楽しむ会が指導し、大会は三木山が18日、来の英雄育成事業」と

た。

三木市内の小学生約70人と保護者らが参加。会議所のメンバーに教わりながら製作し、紙コップには好きな絵を描いて個性を出した。子どもたちは歓声や声援を上げながら、牛乳パックで作った

リモコンを必死に操り、土俵上のロボツトを戦わせた。

三木小6年の足立晴輝君11は「作るのには難しかったけど、ロボツトがまっすぐ速く進んで面白かった」と話していた。
(藤森恵一郎)